



クローバーの「時×空」投資 Time×Space



クローバー・アセットマネジメント株式会社 月次レポート 2020年4月30日基準

★確かな未来に

長期投資

世界各国で新型コロナウイルス封じのロックダウン緩和の動きがみられる中、日本では緊急事態宣言が延長戦に突入することになりました。もともと日本の場合にはロックダウンでなく、もともと自粛（といってもかなり強制的な）ですし、県や企業によってもかなり異なるという動きがみられるので良い傾向かと思えます。

私が確認した範囲では、発生時ならいざしらず、ある程度感染が広がってしまった状況で、完全にウイルスを封鎖することは不可能で、最終的には集団免疫がある程度（60%以上）の人で獲得されないと、本当の収束にはならないようです。あとは医療崩壊や高齢者等の感染に最大限配慮しつつ、経済を出来る限り元に戻して、集団免疫を確保してより早く終息を迎えるかということだと思えます。しかし、世界的規模で見ると元の状態に戻る完全なアフター・コロナの訪れは遠く、ウイズ・コロナの時期が続くそうですね。そんな状況ですから今後世界がどうなるかは、まだなかなか予測が難しいのですが、こういう時は不確定で変化の激しい情報より、はっきりしている長期の変化に注目したいと思っております。

まずは世界の中央銀行が空前の資産購入に乗り出しています。その額は既に5兆ドル（約530兆円）相当と言われ、アメリカの国家予算、日本のGDPを超える額です。ちなみに、その半分はアメリカのFRBによるものだそうです。つまり大量の資金が金融市場に供給されているというところで、今後この資金は増大していくでしょう。このことは当面はプラスに作用しますが、将来の増税に結び付くりスクもあり

ます。

次に明らかなこととして、世界の人々の動きを一気にストップしてしまつたわけですから、実体経済の方は大きく収縮しています。需要だけでなく、供給サイドもダウンしていますので、当面全体ではデフレ傾向が続くでしょうが、モノや国によっては価格が暴騰するものが出てくるかもしれません。もつと恐ろしいのは、長期の経済停滞による倒産や失業者の増加です。自国通貨で借金が出るアメリカや日本などの国はむしろ少数派で、ほとんどの国はドル建てなどの通貨でしか国債を発行できません。しかも、信用が無いので国債を発行する場合は高利率となり、かなり金利負担となつてしまします。その為、実体経済を疲弊から守るための充分な財政出動が困難ということになり、新興国を中心に多大な倒産、失業が生まれてしまう可能性が高くなつてしまつていくことです。経済は大小の歯車が絡み合つて成立しているもので、遠くの新興国の小さな企業が倒産したり、貧しい人が失業したりしても、数が大きくなると世界規模で甚大な影響が出てきてしまう可能性があります。もつとも、今回の中国への過度の依存リスクが改めてクローズアップしたこともあり、投資先が中国から



2020年4月21日火曜日 13時の銀座通り

新興国へ流れる可能性がありますので、そのような国々にはプラスの作用もありそうです。

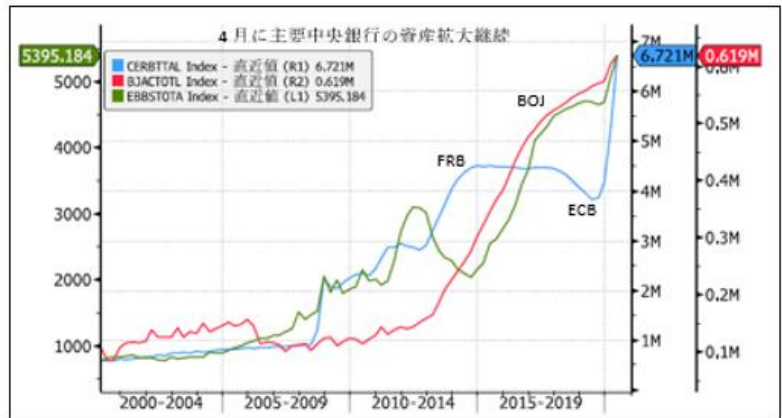
三つめが、新型コロナウイルス前後で大きな変化がおこるということです。かつて、中世にヨーロッパで流行したペストは、当時絶大だった教会の信用を失墜させ、さらに彼らの経済基盤だった農奴制を崩壊させることで、中世を終わらせたとも言われています。今回の新型コロナウイルスも、先月のレポートでもお伝えした通り、働き方や、住環境、都市の在り方等を大きく変化させ、産業革命以来続いてきた地方から都市への人口流入の流れが逆流し始めるかもしれません。どんな変化にしろ、これだけの大きな影響を与えた後ですから、我々の価値観を含め、多大な変化があるのは間違いないでしょう。ここで大事なポイントは、大きな変化のある時は、かならず急成長してくる企業が現れるということです。

このように確かな未来を考察しながら、我々長期投資家として真剣に考えなければいけないのは、大量に金融市場に供給されたマネーがどこへ行くのかということでしょう。キーになるのは「供給が限られるもの」になりそうです。この「供給が限られるもの」は何か？金（きん）なのか、あるいはビットコインなどの仮想通貨なのか？高級ワインなのか？新しい時代の一等地なのか？でも長期投資家として一番期待できるのは、やはり「新しい時代に適応できる、かつ参入障壁の高い企業」ということではないでしょうか。そんなこれからの成長企業を見つけて出す、必殺技を持ったオタクな新たなファンドマネージャーを世界中からしっかりと見つけ出し、この苦境を将来感謝できるようにしたいですね。

多根幹雄



4月は株式市場にとっていい月でした。S&P 500は過去30年間で最高のパフォーマンスを挙げました。この数字の間、世界中央銀行と政府は経済崩壊を避けるために必要なあらゆる手段を講じ、製薬会社からも前向きなニュースが聞かれ始めました。そしてパンデミックに関する統計の改善もさることながら、いくつかの国では一部ロックダウンが緩和され始めています。こうした改善を示すニュースは投資家の楽観ムードを後押ししました。

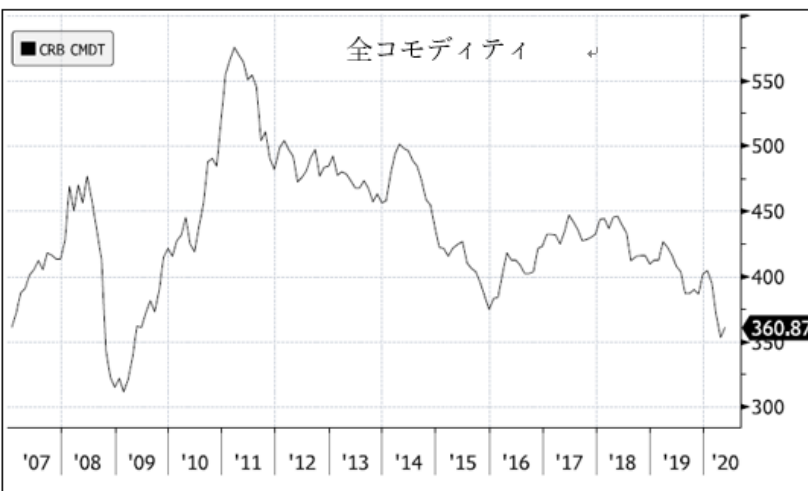


Source : Bloomberg

一方でコモディティ市場は異なる動きを見せました。最たる例が、価格が暴落し一時マイナスに落ち込んだ原油市場です。また、ブルムバグ農業サブインデックスは同じ月に5.5%以上の下落と非常に残念な値動きとなりました。ただし、鉄鉱石や銅などのその他工業用コモディティは、同月にプラス圏で商いが終わっている点は指摘しておきたいと思えます。すでに述べたとおり、株式市場は好調に推移しました。しかし株価上昇の質は必ずしも良いとは言えませんが、6割弱を占める米国株式市場の価格変動は主にマイクロソフト、アップル、アマゾンの3社の株価によるものでした。ところあることをご存知だったでしょうか？そして、TOPIXの時価総額は324兆円。なんと同規模です。まさに驚きです。

労働者のロックダウンは人々に多大な心理的影響を及ぼし、結果ほぼすべての業種と経済活動で混乱をきたしました。短期間で正常な生活を取り戻すことは非常に難しいようです。特に密閉空間となりうる飛行機や飲食店などは困難を伴うことになりそうです。イタリアでは1日の死者数が900人を打って4週間たった今でも、300人ほどの人々が1日のうちに亡くなっています。パリでは5月11日以降、市内は段階的にロックダウンを解除し始めていますが、政府のガイドラインを遵守する必要があります。地下鉄やバスなどの公共の乗り物は通常の乗車率の10%から20%での運転を余儀なくされています。言うまでもなく、こうしたフラストレーションや経済的不合理がいわゆる“普通”の環境になりつつあります。

大半のアナリストがロックダウンの出口には大小を問わず弱体化した企業を伴うことになると予想しています。総じて経済活動が新型コロナウイルス以前の水準に戻らない限り、失業率は悪化の途をたどるでしょう。痛みを分け合うことになるでしょう。ただし今回は政府の援助はあまり望めません。そしてその先には、何が何でも経済を下支えするために投入した巨額の支出が表面化することになるでしょう。すでに数年後の増税についてささやかれていますし、健康保険料が増えることもほぼ間違いなくでしょう。よって、投資家心理は改善しつつあるにもかかわらず、ワクチンが想定よりも早期の段階で見つからない限り、短期中期のファンダメンタルの見通しは不確実性が高いといえます。ただし、ワクチンの早期開発は突飛な話ではないかもしれませんが、なぜなら主要国ではすでにワクチンの開発に多大な努力と資金を投入しています。とはいえ、理論的にはさらに数四半期



Source : Bloomberg

中国と主要欧州諸国との間の緊張はどうか。この問題は真剣に考慮に入れる必要がある。これはよくない。いくつかの脱税企業はバグを修正し始めています。動きは始まっています。シリコンはすでに1位の取引額を占めています。日本はすでに

は必要になりそうです。加えてパンドミックの余波は多くの疑問を新たに提起することになり始める。もちろん政治的緊張は新しい緊張をもたらしますが、

米国はすでに中国依存の対応を進めていたようだ

2015 米国の貿易 (USD min)		2019	
Trading Partner	Total Trade (\$M)	Trading Partner	Total Trade (\$M)
China	626 748	Mexico	576 203
Canada	531 710	China	575 686
Mexico	492 752	Canada	563 029
Japan	199 442	Japan	224 888
Germany	174 185	Germany	188 107
South Korea	116 039	South Korea	138 731
United Kingdom	115 381	United Kingdom	132 555
France	79 229	France	93 285
India	65 443	India	93 167
Italy	59 765	Netherlands	78 977
Netherlands	57 586	NEW → Vietnam	77 684
Brazil	55 771	Italy	76 191
Belgium	52 049	Ireland	75 665
Switzerland	51 844	Singapore	72 273
Singapore	51 606	Switzerland	63 731

Source Bloomberg

めとする一部の国は、世界第2位の国である中国に対する依存低下を積極的に推進している。こうした要素はより広範に受け入れられることになるでしょうし、世界政治と経済地図は投資家の投資行動とともに確実に変化することでしょう。

最後に可能性としては低いシナリオについて一言。鉱業は想定外の需要増加に対応できないため、完全且つ急速な世界経済の回復は急激なコモディティ需要増加によるインフレシナリオを再熱させる可能性があります。このシナリオの蓋然性は高くはありませんが、クローバーでは完全にこの可能性を排除しません。パンデミックの第二のピークにはついては言及しませんでした。医療関係者らは第二波が来ることを予想しています。依然、起こる場所と、その可能性については「もしも」の域を出ません

樋口恭信



★マーケットコメント

NY株式市場は、前月の大幅下落から立ち直る一ヶ月となりました。当初、新型コロナに対して抑え込みに自信を持っていたトランプ大統領でしたが、国内感染者の急増、WTOのパンデミック宣言を受けて、3月27日には新型コロナウイルス対策として総額2兆2000億ドル規模の対策法案(CARES Act)を成立させました。直後は、具体的な運用に疑問もありましたが、名目GDP(国内総生産)の10%に相当する規模で、かつ様々な産業や個人への配慮をした内容で、かつてない大型の政策となりました。一方、FRBは4月9日、一般企業にも間接的に融資する緊急措置を決定しました。中小企業を対象企業の条件とし、大手企業にはコマースやペーパー(CP)や社債を買い入れる緊急措置を用意しました。新型コロナによる資金難は、中小・中堅企業だけでなく幅広い企業に広がっており、早くも対象を拡大することにしました。こうした施策により、米

国でのコロナの感染拡大が世界最大となった後も、経済は破綻しないという安心感が広がりました。

4月16日には、早くも感染者が少ない地域から経済活動の再開を3段階で進める新指針を発表、コロナ後の経済再生に道筋をつけることにより、V字回復を目指しています。マーケットは、月末にかけて大きく値を上げました。

日本株式市場も、月初に政府が緊急事態宣言を発令、それとともに発表された過去最大となる108兆円規模の緊急経済対策が影響して、順調に上昇していく一ヶ月でした。「緊急事態宣言」といっても、他国に見られるようなロックダウンというような強制力のある施策ではなく、あくまでも自粛を促すという緩やかなものではあるものの、ある程度の効果はあり、月末になった時点で、感染拡大のスピードも減速しつつあり、日経平均は20000円を超えて月末を迎えました。もちろん、この新型コロナの明確な特性や、決定的な治療薬、ワクチン等が確立したわけではないので、まだまだ予断は許さないとはいえないので、いつまでも人の動きを止めているわけにもいかないのです。手探りで経済を動かしているという状況にきています。

磯野昌彦



★ファンド仲間から

『4年ぶりのクローバーセミナーは やっぱり〇〇だった!』

クローバー歴12年、大阪在住の大黒裕佳子です。今年の2月にふと思ひ立ち、クローバー長期投資セミナー「アメリカ出張報告会」2月8日inアメリカ村に参加させていただきまして。2016年6月のクローバー10周年祭りに来てしたので、なんと4年ぶりのセミナー参加。そのとき感じたことが「クローバーのセミナーはやっぱり〇〇だった」でした。

【やっぱり安心だった】

投資のセミナーでこんなに温かい空気が生

まれるのは、クローバーが日本一ではないでしょうか? 私は2008年4月からつみたて投資を続けており、いきなりリーマンでしたが、なぜか安心感を持って投資を続けてくることができました。それはクローバーから「自分たちが一番良いと思うファンドを届けたい」という想いが伝わってくるからです。

月次レポートでの多根社長のメッセージから安心感をいただいているのですが、セミナーで直接お会いすることで「クローバーで長期投資を続けることへの信頼感」を肌で感じる事ができました。

【やっぱり豊かだった】

アメリカ出張でのラスベガスCES(コンシューマー・エレクトロニクス・ショー)のアドバイザーの話やビバリーヒルズの話、3つの個人的なファンド訪問のお話など、アメリカ村にいるのに世界の様子を知ることができてワクワクしました。(このときはまだ、コロナウイルスと共に生きていく時代がくるなんて全く想像していませんでしたが、アバターを当たり前に使うようになるのかな?)

私はお金を増やすために積み立て投資をしていますが、わずかなお金でも世の中で価値を生み出す企業に投資してもらえているということ、とても豊かな気持ちになれます。

【そして、美味だった】

セミナー会場で、たねころ山でとれたみかんをいただいたとき、その自然な甘さと酸っぱさに身体がとても喜んでいました。(磯野さんのフォカッチャをいただける日も楽しみにしています)

どんなに時代が大きく変化しても、お金の流れの向こうに「人々の笑顔」が見える。そんなファンドを運用し続けてくださっているクローバーの皆さんに心から感謝します。これからもどうぞよろしくお願いたします。



大黒裕佳子

浪花おふくろファンド

じっくりどっしり長期運用

【4月の運用コメント】

コムジエスト世界株式、カーディフ・ジャパンが大きく貢献し、ファンドの基準価額は、前月比+6.04%となりました。まだまだ、キャッシュに余裕もあるので、下落時には、新規組み入れも含め積極的に買っていきたいと思っています。

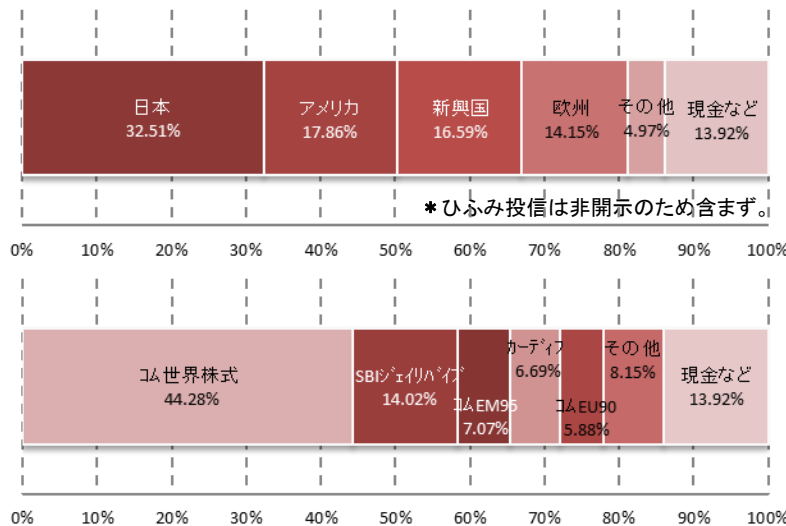
基準価額と純資産総額の推移



浪花おふくろファンド概況

基準価額	19,867円	信託期間	無期限
純資産総額	1,217百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日		(休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全7本)(上段:国別、下段:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
6.04%	-7.89%	-4.48%	-2.83%	10.19%	98.67%
				(複利年率)	(複利年率)
				(3.28%)	(5.85%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率0.99%(税抜き0.9%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.27%(税込/概算)
------------------	--

コモファンド及び浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売はクローバー・アセットマネジメント株式会社/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号
※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

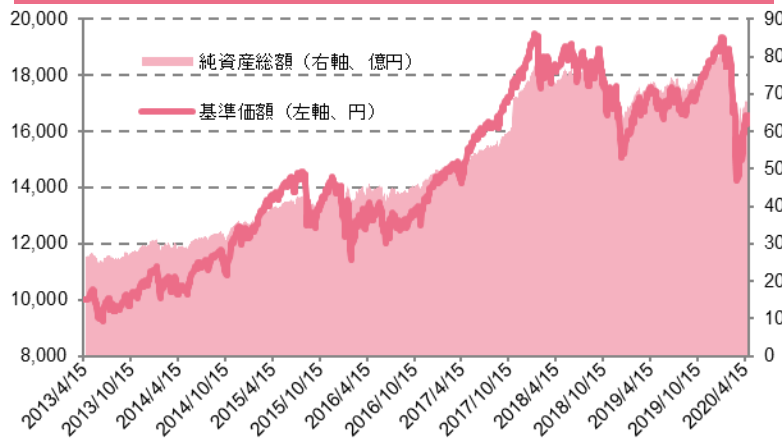
コモファンド

変幻自在ずーっとおまかせ

【4月の運用コメント】

月初に、キャッシュ比率を高めるため、TOPIX ETF、低迷の続いていたユキ・ジャパンを全売却、コムジエスト世界株式を上旬、中旬に追加購入しました。また一部、保険的機能を持つヴァレンセレクションを新規に組み入れました。こうした中、アトランティス、SBIネクスト、コムジエスト世界株式が大きく貢献し、基準価額は、前月比+6.06%となりました。キャッシュに十分余裕もあるので、下落時には、新規組み入れも含め積極的に買っていきたいと思っています。

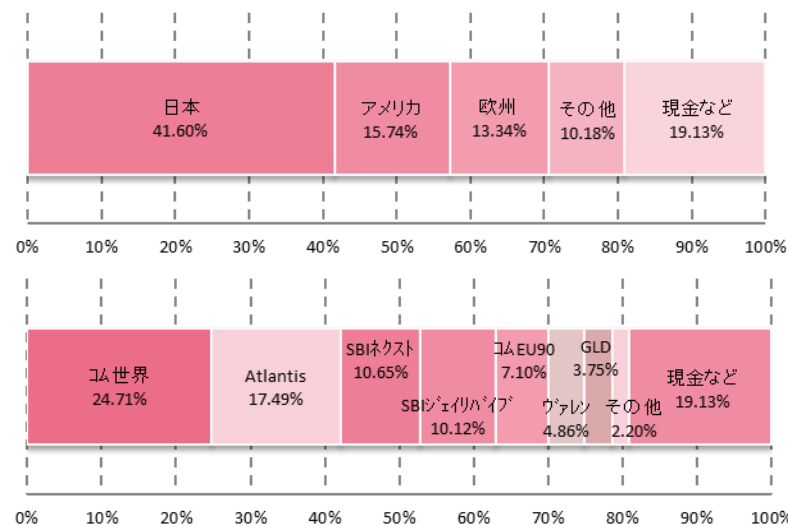
基準価額と純資産総額の推移



コモファンド概況

基準価額	16,581円	信託期間	無期限
純資産総額	6,915百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2013年4月15日		(休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全10本)(上段:国別、下段:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
6.06%	-10.54%	-7.27%	-5.27%	11.35%	65.81%
				(複利年率)	(複利年率)
				(3.64%)	(7.44%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率1.10%(税抜き1.0%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.7±0.5%(税込/概算)
------------------	--

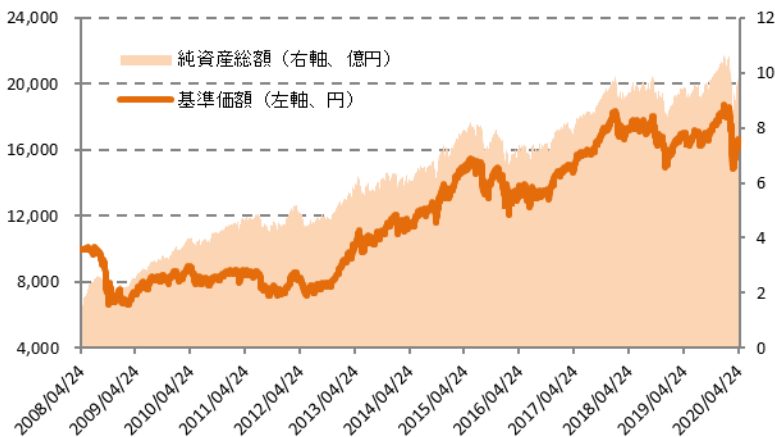
【4月の運用コメント】

月初に、キャッシュ比率を高めるため、TOPIX ETFを全売却しました。こうした中、最大ボリュームのコムジェスト世界株式が貢献し、基準価額は、前月比+4.99%となりました。まだまだ、キャッシュに余裕もあるので、下落時には、新規組み入れも含め積極的に買っていきたいと思っています。

【4月の運用コメント】

月初に、キャッシュ比率を高めるため、TOPIX ETFを全売却しました。こうした中、最大ボリュームのコムジェスト世界株式が貢献し、基準価額は、前月比+5.36%となりました。まだまだ、キャッシュに余裕もあるので、下落時には、新規組み入れも含め積極的に買っていきたいと思っています。

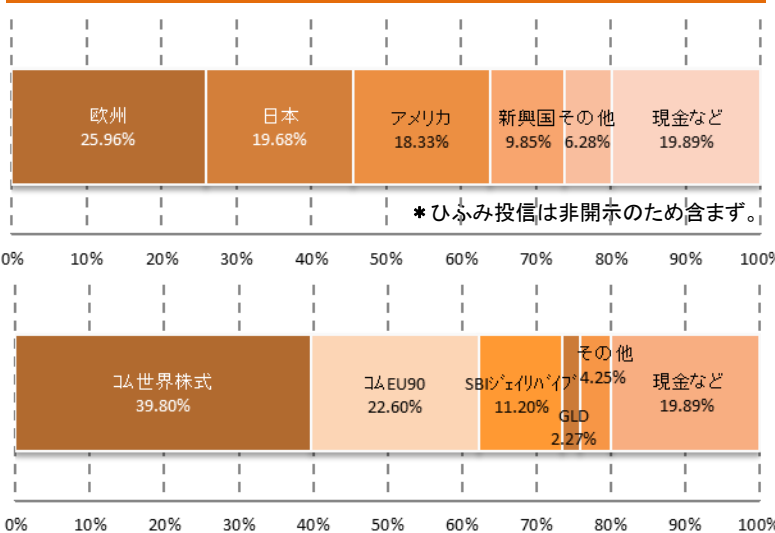
基準価額と純資産総額の推移



らくちんファンド概況

基準価額	16,651円	信託期間	無期限
純資産総額	978百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2008年4月24日	(休業日の場合は翌営業日)	

資産構成比率(組入ファンド全7本)(上段:国別、下段:ファンド別)



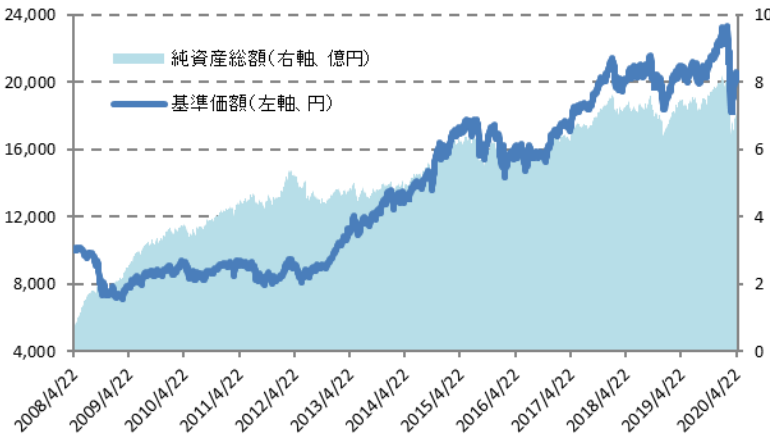
期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
4.99%	-8.56%	-4.02%	-2.17%	9.73%	66.51%
				(複利年率)	(複利年率)
				(3.13%)	(4.33%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率0.99%(税抜き0.90%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.55±0.27%(税込/概算)
------------------	---

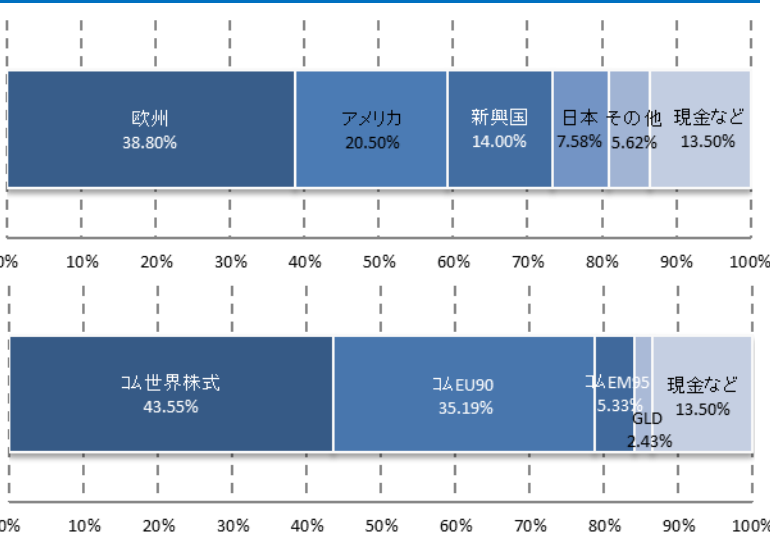
基準価額と純資産総額の推移



かいたくファンド概況

基準価額	20,479円	信託期間	無期限
純資産総額	706百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2008年4月22日	(休業日の場合は翌営業日)	

資産構成比率(組入ファンド全4本)(上段:国別、下段:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
5.36%	-9.46%	-3.72%	-2.24%	15.18%	104.79%
				(複利年率)	(複利年率)
				(4.81%)	(6.14%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率0.77%(税抜き0.70%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.4±0.2%(税込/概算)
------------------	---

かいたくファンド及びらくちんファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。監査費用、信託事務の処理に要する諸費用等は、純資産総額の年0.11%(税抜0.10%)を上限として信託財産から支払うことができます。



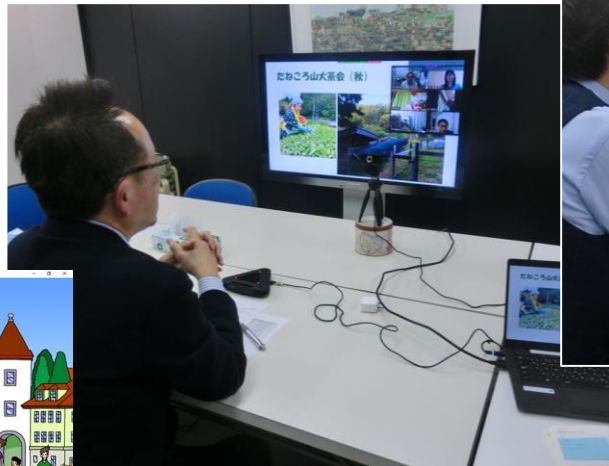
クローバー・フェイスブックから

2020年4月24日

★長期投資セミナー ライブ配信

『あいのり投資ノススメ』

大変不安定な状況の中、皆様にもう一度原点にかえって、ご確認いただこうと開催いたしました。多根社長の話は、やはりコロナウイルス禍の話題から。困難な状況の中だからこそ、他にない強みを持った企業は、大きく伸長する、今こそ変わらないものに注目することが大事。またコロナ後には、人々の生き方、価値観も大きく変わってくるので、それに対応できる企業の在り方も大きく変わってくるだろうというお話。また、クローバーの特徴についてもお話させていただきました。



ネットを通して聞くと新鮮な感じですね。カメラ、パソコンも新調、機器のレベルが上がったので、仮想背景もきれいです。え、ご好評をいただきました。



★Stay Home★

☆銀座テイクアウトシリーズ

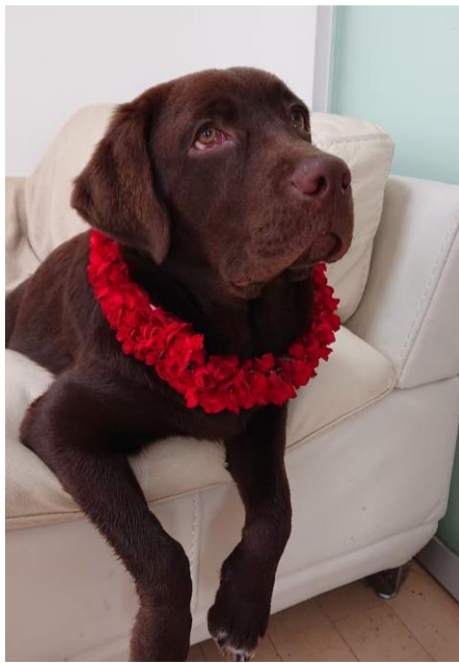
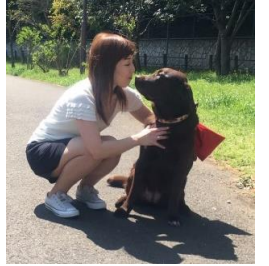
いつもよく行っているフレンチのお店コクシネル（てんとう虫）の出来立てお弁当1000円。メインは鶏もも肉のワイン煮（ホロホロの柔らかさ）、付け合わせに、フライドポテト、ニンジン、ブロッコリー、インゲン、ブロッコリー、カリフラワーなど野菜もたっぷり。フランスパンもパリッと温めてありました。クローバーのオフィスの目の前のビルの地下なので、温かいうちに食べられます。ありがたいです。銀座周辺は、ほとんど店が閉まっています。これから、せめて美味しい弁当の開拓を！ ロケ弁で人気の金兵衛のお弁当もヘルシーで、クローバー御用達です♡



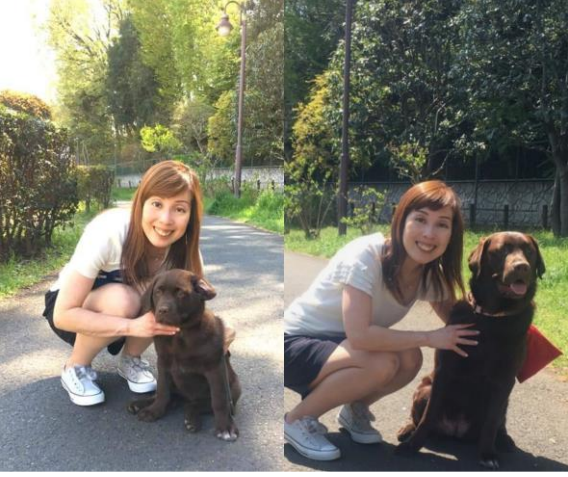
★わたしの

茶色い妹2

かわいい妹オードリーも、1月6日で1歳のお誕生日を迎え、現在1歳4カ月の体重30kgです。去年の3月に岡本家に来たときは、体重4kgなかったので、10倍くらいおつきくなりました。



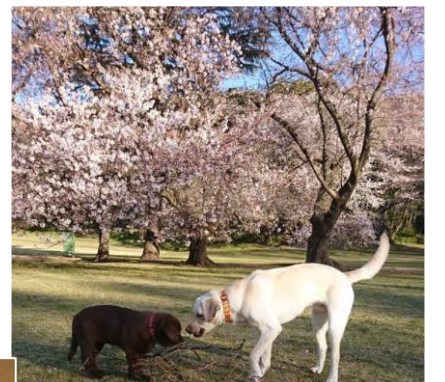
女の子らしく、レイをつけてフーラーに。赤いバナナをつけて赤ずきんちゃんに。でもコレクションはなぜか木の枝とガム



の骨が好き。木の枝はフルート奏者のようなスタイルで、もぐもぐするんです。Cocomiさんにも負けてません。



砧公園でいつもの仲間たちと遊ぶことが生きがい。季節のお花も大好き。



でも、ソーシャルディスタンスにはちゃんと気をつけてます。甥っこと距離感はカンペキなんです。マスク着用もぬかないオードリーなのでした。



わたしのテレワーク中は、毎日zoomでの朝礼に参加してるオードリー。そのうちネットセミナーにも参加したいと思ってるみたいなので、そのときはよろしくお願いします。

総務★岡本葉月



“クローバー運用報告会2020春”

5月16日(土)
10:00~11:30

5月22日(金)
18:30~20:00

京橋オフィスからのライブ配信セミナー



定員20名 無料
(交流会は
オンラインにて
行います)

多根 幹雄(当社代表取締役社長)
磯野 昌彦(当社専務取締役)



Webで口座開設はじめました! *弊社HPのトップ画面をご覧ください。



ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありませぬ。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

クローバーから大切なお知らせ

【投資信託説明書(交付目論見書) 交付予定のお知らせ】

ファンドの決算に伴い、目論見書を改訂いたします。決算日時点で残高があり、「投資信託説明書(交付目論見書)」不交付の同意をされていないお客様を対象に、今月下旬から「投資信託説明書(交付目論見書)」「(コドモ・らくちん・かいたくファンドは5月20日改訂版、おふくろファンドは6月4日改訂版)をクネコDM便またはメールにて交付いたします。お取引の前には、必ずご一読ください。なお、「お客様マイページ」をご利用のお客様は、マイページ上に交付いたしますのでご確認ください。

【投資信託説明書(交付目論見書)の電子交付(メールでの交付)について】印刷した交付目論見書が不要の場合は、電子交付サービスをお申込ください。*電子交付サービスの詳細は、「重要事項説明書 約款・規程集 第5編 電子交付サービス取扱規程」をご確認ください。

【交付目論見書『不交付の同意』について】

不交付の同意をされた場合、交付目論見書改訂の都度、交付いたしません。ただし、投資判断に関わるような、重要な変更がある場合には、交付いたします。また、不交付の同意後でも、ご連絡いただきましたらいつでも交付いたします。

*今後、交付目論見書について「電子交付」、「不交付の同意」をされるお客様は、当社業務管理部までお電話にてご連絡ください。

【毎月つみたてスケジュール】

次回引落日は、**6月5日(金)**
6月分金額変更・中止・再開締切日・・・5月25日(月)
7月分新規・口座変更締切日・・・6月3日(水)
*毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。

クローバー・アセットマネジメント株式会社
(受付時間:平日9時~17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968

E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp